

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水路等浚渫事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	01	1節	整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	河川課			
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備		主管課長	中西 辰夫			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	準用河川や水路の沿線住民	意図	障害物の除去や清掃、堆積土砂の浚渫を行い、治水機能を保持すると共に、水辺環境を良好に保つ。
事業内容	・準用河川及び水路の浚渫及び清掃。			
事業開始から現在までの状況変化	・当初は蓋なし水路が多かったため、直接人力での作業が可能であったが、市街化に伴いユスリ蚊や臭気対策として蓋かけ構造の水路が増加したため、現在は機械による吸引作業が中心となっている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		河川環境に関する苦情	15	10	13	箇所	↓↓↓
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						<ul style="list-style-type: none"> ・苦情箇所については、早期に現場確認を実施している。 ・新川耕地周辺の人家が少ない地域では水路への不法投棄が多い。 ・汚泥溜りが例年異なり、事業費にばらつきがある。
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,909,820	10,784,502	5,826,212			
事業費（b）（円）		712,800	7,778,352	3,622,212			
うち一般財源		712,800	7,778,352	3,622,212			
職員給与費(c)(円)		3,197,020	3,006,150	2,204,000			
人役・職員(人)		0.40	0.40	0.30			
人役・再任用(人)			0.11	0.08			
人役・臨職(人)		0.11					
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・汚泥が堆積し易い箇所や浸水対策の要所を重点的に実施する。 ・不快虫の発生防止対策を行う。 	取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・例年堆積し浚渫依頼のある場所について対策を検討する。 ・水路への不法投棄対策。
今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・年間単価契約により浚渫、清掃を行い水路機能と周辺環境の保全に努めた。 	今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・水路の浚渫・清掃が必要な場所を台帳化して定期的に事業実施する。 ・河川や水路のパトロールを実施する。